



やまばと

2022年9月発行 山鳩同窓会会報 第36号

山鳩同窓会事務局

〒990-0034

山形市東原町 2-3-26 東原幼稚園内

TEL : 023-622-4789

FAX : 023-622-4790

HP <http://higasi.holy.jp/>

ブログ <http://higashiharakids.blog.fc2.com/>

何事でも、自分にしてもらいたいことは、

ほかの人にもそのようにしなさい。

聖書



ひよこぐみ (満3歳児)



ももぐみ (年少)



ほしぐみ (年中)



つきぐみ (年長)

特 集

「新しい時代にはじめたこと」

【同窓会長よりご挨拶】

同窓会のみなさま及びご家族の皆様お変わりございませんか？

新年度が始まって、はや3か月が過ぎました。同窓会の新年度の初会合は役員さんたちの歓送迎会です。1年生の役員さんを迎えることは嬉しいのですが、旧6年生の役員さんをお送りすることは、とても寂しいことです。ですからこの会は複雑な気持ちになる会です。ですが、この会のプログラムの一つに自己紹介があります。この時は私のワクワクタイムでもあります。というのも同窓生の成長の一端を具体的に皆さんが語ってくださいますから、心躍る時でもあります。

同窓生と共にいらして助けてくださる天地の創造主なる神様が確実に一人一人に働いてくださっていることを実感させてくださる恵みの時ですから、私にとってのワクワクタイムです。

日々、いろいろな事があることと思います。同窓会員お一人一人のために心からお祈りしています。今年度もよろしく願いいたします。どんな些細なニュースでもご連絡をお待ちしています。（連絡先は事務局の東原幼稚園です。）

前会長の阿部嘉久先生はお元気です。お電話をすると、「私の今の役割はお祈りすることですから、祈ってますからね。」と励ましてくださいます。同窓生のため、同窓会働きのため、お祈りを続けてくださっています。心強く、感謝なことです。阿部先生ありがとうございます。

「置かれたところこそが今のあなたの居場所なのです。咲けない時は根を下へ下へと降ろしましょう。人はどんな場所でも幸せを見つけることができる。」：渡辺和子の名言集より

（同窓会長 栗野 桂子）

【2022年度の同窓会行事】

★ファミリーフェロシップ…6月25日（土）9：00～12：30

＊小学1年生～6年生まで、たくさんの卒園生が参加し、
楽しいひとときとなりました。

★山鳩同窓会クリスマス祝会…12月3日（土）10：00～受付

★2022年度同窓会入会式…2022年3月17日（金）



幼稚園卒園おめでとう！

2021 年度卒園生 24 名が幼稚園から羽ばたきました！



「ゆめ！ おおきくなったらなにになる？」

いしざわ かほ
おはなやさん

おじま とうこ
れすとらんの
こっくさん

かねだ かい
アートかんけい

くろさか しょうた
けいさつかん

さとう めい
アイドル
はいしゃさん

やました こうき
やさいやさん

よこやま あきと
けえきやさん

おかだ あおば
めいろをかくひと

ごとう さくや
スポーツせんしゅ

こやま あかり
こくれんではたらく
ほうせきをつくる

さはら ひかる
ほんをかくひと
おうちをつくるひと

ねもと ちかげ
まだきまって
ません

はやさか けんた
おうちをつくるひと

あしの むつき
ケーキやさん

あらき ゆうた
おうちをつくるひと

いとう かずき
しゃしんか

たかだ たいち
ママとずっとくらしたい

とよだ かな
ユーチューバー

ふじむら みなと
おうちをたてるひとに
なりたい

いしざき さら
レストラン

かすや ひなた
からてできんめだる

きたはら けんた
ユーチューバー

しょうじ あおい
かめらまん

ゆうき まこと
せんせい

(卒園文集「おもいで」より転記)

＜特集＞新しい時代にはじめたこと

山鳩同窓会のみなさま、お元気でいらっしゃいますか？新一年生のみなさんは小学校生活を楽しんでいますでしょうか？

コロナ禍になり、マスク生活も三年目となりました。規制の緩和も進みつつありますが、コロナ以前のような生活に戻るにはまだまだ厳しいように感じます。

今回のテーマは【新しい時代にはじめたこと】です。コロナの時代になって生活は大きく変わったことと思います。そんな中で新しくはじめた運動やおうちでの楽しみなこと、新たな習慣、または一度は諦めたけど再チャレンジしていることなど、以前とは違う新しい時代だからこそはじめたことをみなさんにお聞きしました。

「新しい時代に始めたこと」 佐々木はるや（2017年度卒）

僕が新しい時代に始めたことは、3年生の新しいクラスに慣れるために、友達に積極的に話しかけたり、パソコンにあるクラスの先生や友達と共有しているページに、自分で作ったスライドや学校での授業であった事を写真などを使ってのせたりして、クラスの友達との仲を深められるように頑張ったことです。新しいクラスは複式学級といって3年生6人と4年生6人の12人のクラスで、人数が少ないので、同学年の友達があまりいないというデメリットはあるけど、人数が少ないと沢山色々な話が出来たりするので、仲が深まるというメリットがあります。色々な友達と関わることを1、2年生のクラスではあまりしていなくて、いつもいっしょの友達とばかり遊んでいたけれど、今は人数が少ないので、クラスの友達全員と遊べるようにできるだけ多くの友達を遊びに誘ったりするようになりました。そうしたら4年生との距離もちぢまって、遠くからは分からなかった4年生のすごさがよくわかって、僕もこんな姿になりたいなと思いました。お手本が出来たので、どうやったらそんな風になれるのかなと考えるようになって、やる気も出てきて、遊んでいる時の楽しさが倍になりました。

夏休みや冬休みなどの長期休みにはクラスの友達と会う機会がちょっとしかなくて、さらに今の時代はコロナで休校や学級閉鎖、学年閉鎖などがあったり、思いがけないトラブルによって会う機会がさらに少なくなってしまう事もあるので、友達と会える貴重な時間をこれからももっと大切にしたいです。大切な時間は複式学級の自分たち生徒だけで進める授業の中でもあるので、これからは授業も集中しながら友達とのきずなを深めて、学校での生活を全力で楽しんでいきたいです。

！

「マスクをつけても笑顔で」

横山はるみ（2014年度卒）

みなさんは、人の笑顔ですくわれたことはありますか？私はあります。人の笑顔を見たら、「こんなことしてよかったな～」と思います。2019年に、急に中国でコロナになった人が出てきて、数ヵ月でパンデミック、世界的な流行になりましたよね。日常ではマスクが基本となり、人と話すことはなるべくさけるようにしなくてはなりませんでした。急にいつもと違う環境でくらしなさいといけなくなりました。毎日マスクをしなければいけないじょうきょうでも、私のまわりの人は笑顔でした。クラスメイト、習い事の友達、元気に遊んでいました。私はとても安心しました。今でも、コロナに気をつけつつですが元気に遊んでいます。今もマスクは外してはいけませんが、みんながとても笑顔なのが、マスクをつけていても分かるので毎日すくわれています。いつかマスクを外して笑顔で過ごせる日が来ることを、心から願っています。そしてこれからも平和で安心安全な楽しい日々になることを願っています。これを読んでいるあなたにも、幸運、大切な宝物のような、一生忘れられないような最高の日がきますように！

「コロナ禍での新しい挑戦」 本田 語（2015年度卒）

2019年夏、僕は小学校5年生で全日本バレーボール小学生大会全国大会に山形県男子代表として出場しました。東京の大きな体育館に各県代表のチームが集まり、たくさんの人たちの大声援の中でプレーしたことを覚えています。コロナ禍になる前、それは当たり前前の光景でした。

2020年3月、僕たちコスモスポーツクラブ東原教室のメンバーは、連覇をねらって全国コスモ・ドッチボール大会をととても楽しみにしていましたが、新型コロナウイルスのために中止になってしまいました。

そんな中、マルティーナさん、通称「マルちゃん」がイタリアから英語とイタリア語を教える先生として東原教会にやって来て、2020年4月から「マルちゃん英語東原」教室が始まりました。僕の初めてのレッスンは4月21日、ZOOMのオンラインレッスンです。直接会うことはできなくても、マルちゃんは画面にテキストを映したり、文字を書いたりしながら丁寧に英語を教えてくださいました。夏まで続いたオンラインレッスンを僕はとても気に入っていました。そうした学び方は、僕にとって「新しい挑戦」だったからです。バレーボールもドッチボールも一切の大会が開催されず、練習が自粛となることもある中で、マルちゃんとの学びは毎週土曜日に僕ががんばることでした。中学生になりバレーボール部の活動が忙しくなっても、土・日に大会が開催されるようになって、コロナ禍の2年間ずっとマルちゃんと学び続けたことで僕は大切なことが身についたと思います。それは外の世界

に興味関心を持ち続けることです。マルちゃんはイタリアのこともたくさん教えてくれました。それから、ウクライナに友達がいるからとても心配していました。ウクライナでの戦争のことも一緒に考えたり、祈ったりしました。コロナ禍の社会では内向きになってしまうこともあるかもしれません。でも、僕はコロナ禍でマルちゃん英語をがんばったことで、学校や部活動のことだけでない世界にも目を向けることができました。

先日、中体連バレーボール山形県大会で優勝した時、イタリアに帰国したマルちゃんにLINEで真っ先に結果を伝えました。マルちゃんはいつも僕のことを応援してくれていたからです。すぐに「すごい！！！！！！」という返信がきました。僕はこれからもいろんなことに目を向けながら、コロナ禍でも感謝を忘れずに生活していきたいです。

「部屋と心を整えること」

小松 瑞生（2010年度卒）

私が新しい時代に始めたことは、自分の部屋を整えることです。私は今高校3年生で、新型コロナウイルスによる一斉自粛を経験したのは、ちょうど中学3年生から高校に入学する時期でした。中学生の頃までは、部屋は散らかり放題で、恥ずかしながら自分で掃除をした記憶がありません。しかし、一日中家で過ごす自粛期間で、自分の部屋の居心地の悪さに耐えられなくなり、せっかくできた有り余るほどの時間を活かして、断捨離と掃除、部屋の模様替えをしました。きれいになった部屋は、本当に気持ちが良く、その時の感動を今でも覚えています。それ以来、2週間に一度は必ず掃除をする習慣ができ、今でもきれいな部屋を保つことができます。その習慣ができてしばらくした頃から、部屋に観葉植物やお花を飾るようになりました。観葉植物はゆっくりと確実に成長していき、日々小さな喜びを感じさせてくれます。お花は心をほんのりと優しく癒やしてくれます。観葉植物は、強いものを育てているので面倒を見るのが簡単ですが、お花は少しでも放っておくと、腐ったりカビたり…。自分に余裕が無い時ほど、早く枯れてしまいます。期末試験前に何度カビさせてしまったことか…。お花には申し訳ないけれど、お花が自分の心のバロメーターになっています。コロナによって悔しい思いも沢山しましたが、私は自粛期間のお陰で、素敵な習慣を作ることができたと、プラスに捉えている部分もあります。毎日の中に小さな幸せをみつめて、頑張っている周りの人や自分に、「ありがとう」って思ったり、伝えたりして、人にも自分にも優しく、この時代を乗り越えていきたいです。幼稚園の先生方も、日々大変な思いをされていると思いますが、先生方の毎日にも、幸せが沢山ありますように。

「コロナ禍で見つけた楽しみ」 石川 久里子（2001年度卒）

私がコロナ禍で見つけた楽しみの一つが、配信ライブの鑑賞です。

コロナ流行前は観劇やコンサートのために遠出をしたり、そこで遠方の友人に会ったりといったことが趣味のひとつでした。しかし、2020年以降は人が多く集まるステージを開催すること自体が難しくなり、このまま演劇や音楽といった文化が立ち行かなくなってしまうのではという危機感がありました。そして私にとっては日々の生活を頑張るための大きな楽しみが無くなってしまい、悲しさとこれからどうなってしまうのだろうという不安がありました。

そんな中、家に居ながらステージを楽しめる配信ライブの登場はとても心を強くしてくれました。配信ライブの良いところは、リアルタイムで同じ時間を共有できることと、当日都合が悪くても後から同じものを観れるということです。あるときは遠い場所に住む友人と感想をコメントし合いながら鑑賞し、会いに行けない状況でも同じ時間を過ごすことができました。また、仕事が忙しい中でも、観たいものを諦めなくても良いようになりました。

もちろん、会場に行ってその場の生の演奏や演劇を感じることでしか得られないものもあります。しかし、配信ならではの楽しみ方がこの生活の中で新しくできたと感じています。また、コロナ禍の前にも、子どもが小さいから等のさまざまな事情から劇場に足を運べなくなったという話をよく聞いていました。このコロナ禍が終息していても、楽しみを諦めずに済む一つの手段として、配信ライブが残ってほしいと思います。

6月の創立記念日に、卒園生の高橋奈緒さんからおたよりをお寄せいただきました。



第72回創立記念日に寄せて

高橋 奈緒（1994年度卒）

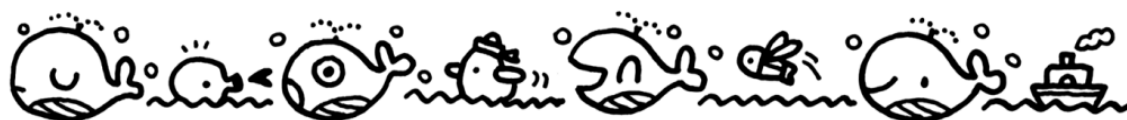
創立72周年おめでとうございます。

この春から、双子の娘がももぐみにお世話になっております。私の中での1番古い記憶が幼稚園での楽しい思い出しかなく、是非入園させたかったのです。

私が入園したのは旧園舎でした。玄関を入りホールと園長室?を抜けると、ももぐみの部屋だった気がします。ホールには大きくてカラフルなブロックがあり、つきぐみさんや先生とお家を作ったり、跳ねて遊ぶバランスボールがあり学年をこえて遊んでいた思い出があります。両親は仕事をしていたので幼稚園バスのお迎え待ちは祖母か曾祖母と庭で待っていたこと、年長でのお泊り保育、跳び箱大会等、たくさんの思い出がありますが、イエス様の降誕劇で明星になり、歌を歌ったことが一番印象深い思い出です。

娘たちが入園することになり、幼稚園の持ち物を手作りしました。私も母から、パッチワークで教会が作ってある絵本袋をもらいました。会話の中で母の想いも知る事ができ、親になって改めて感謝しなければと思いました。筆笥の奥から私と姉が使用していた37年前のランチョンマットが1枚出てきました。デザインも通っていた園舎も違いますが、園に対する子どもの頃の気持ちと親になって感じる気持ちが一緒でした。そんな園の魅力に引き寄せられていると感じます。家で、朝・昼食前・帰りのお祈りの歌を歌ってくれます。一緒に歌うと「ママは歌わないで！幼稚園のだから！」と言われます。双子でも、性格も好きなことも得意なことも違いますが、一人ひとりを大切にしてくれる東原幼稚園での成長を親として見守っていきたいです。

職場の上司も東原幼稚園の卒園生。同窓生の娘さんと子ども同士が同級生。このご縁に感謝します。コロナ禍での育児、保育。子どもなりに我慢をすることも増え、もどかしい気持ちになります。私が子どもの頃とは違うことが多く、先生方もご苦労されていると思います。楽しい幼稚園生活を支えてくださり、感謝の言葉しかありません。



先生方から ～新しい時代にはじめたこと～



理事長 鳥居 完次

対面で打合せができなくても、Zoomでの会議や打ち合わせをすることが変わりました。

園長 高内 健

家族で家にいる時間が長くなったので、夜のクイズ番組、ドラマやアニメを一緒に見たり、娘の車の運転の練習につきあったりすることが、日常となりました。以前は、いつも家にいないことが多い生活をしていましたが、今は家族と一緒に過ごせる何気ない日常に感謝しています。

副園長 中村 圭子

昨年うちに連れてきたチェンバロの爪を、プラスチックから昔ながらのカラスの羽根に交換する作業をしています。細かい作業なのですが、音が劇的に変わるのでとても楽しいです。林の中で大量に黒い羽根を集めている人がいたら、それはきっと私です。

つきぐみ 佐藤 美和

おうち時間が増えたことと、居住環境が変化したこともあり、部屋に季節のお花を飾るようになりました。小さな楽しみですが、お花のある暮らしは心をととても豊かにしてくれます。今は、ドウダンツツジの枝がどどん！と部屋の片隅に陣取っています。

つきぐみ 鈴木 菜海

コロナの時期だからと家に閉じこもっているだけでなく、感染対策を徹底して、花がきれいな場所などに出かけることで、心と体をリフレッシュしています。

ほしぐみ 武田 ゆき

ここ最近の生活の変化は、掃除をまめにするようになったことです。これまでは週にまとめてやっていた掃除を、気づいたときやできるときを見つけて、コツコツと掃除しています。また、身の回りのものにも目を向け、必要ないものは処分しています。

ほしぐみ 高橋日向子

お家時間が長くなったので、自炊する時間や機会が増え、以前よりも料理の幅が広がりました。

ももぐみ 鈴木 瑠美

コロナに負けない丈夫な体を作ろうと、野菜を毎食食べるようにしています。その日によってサラダでいただいたり、炒めたり、スープにしたり。子どもの頃は野菜嫌いでしたが、大人になって、野菜っておいしいなあと感じるようになりました。

ももぐみ 工藤 藍

家族と過ごす時間が増え、家族と一緒に料理をしたり、片付け、掃除など一緒にしたりすることで、充実した「おうち時間」が増えました。

ひよこぐみ 千葉 節子

コロナの時代となった今も、特に生活は変わらずに与えられたお仕事に励み、お休みの日はお家でのんびりと過ごす毎日です。最近、健康に気を付けるようになり、毎朝ストレッチをしたり、リンゴ酢を飲んだりするようになりました。

ひよこぐみ 進藤 絢香

息子が野球をはじめたので、私もスコアを書けるように頑張っているところです。野球は、なかなか奥が深く、楽しいスポーツだと思います。主人とも協力してコロナ禍の運動不足解消の為、スポ少の活動に力を入れています。

クラス補助 須藤 美香

朝、静かな一人の時間に台所に立つこと。美味しい副菜のレシピ、募集中です。

エンジェル担当・クラス補助 加藤 ひろ子

手作りが大好きだった祖母との思い出の一つ、「梅ジュース」、「梅干しづくり」にチャレンジしています。すっぱい梅シソの香りと、甘酸っぱいジュースは、心と体を元気にしてくれています。感謝です。

はとぐみ・クラス補助 大類 美紀

本嫌いな私が、時に読書をするようになりました。ジャンルはその時に目についたもの、気分転換になります。

はとぐみ・クラス補助 早坂 文子

5年の日記帳を買っていたのを、今年になって書いていませんでしたが、ふと思い出し、また書き始めました。

はとぐみ エンスレン 淳子

コロナの時代になって、Zoom を利用するようになりました。また、ヨガを習慣にして、深い呼吸を心がけるようにしています。

はとぐみ 阿部 明美

孫たちへの来客へのおもてなしとして、手作りお菓子を楽しんでいます。

発達支援相談員 佐竹 真次

村山保健所と共同で「むらやまペアレント・サポート講座」を作りました。希望者にメールでの講座も始めました。興味のある方は、satake550918@gmail.com までご連絡ください。

技能技師 林谷 幸憲

在宅中は扇風機で家の中に常に新鮮な空気を入れています。在宅時間が増えてきたことで、今まで手付かずの場所の整理整頓により、不用品を廃棄し、居住スペース確保をめざしています。

技能技師 森山 茂

まだまだコロナ禍が終息しない世の中。人混みを避けて大自然の中で溪流を楽しむ時間が増え、心身共にリラックスできるような環境を築くよう心掛けているこの頃です。

早朝預かり担当 菅野 さほり

コロナ禍になり、家族で外食に行く事が減りました。家では、みんなでごはんを作ったり、ゆっくり食べたりしながら団らんを楽しんでいます。。

バス添乗 本間 真紀子

コロナ禍の中、外食に行けない日々。お取り寄せの調味料を使って、自己流のアレンジ料理を作って楽しんでおります。

バス添乗 阿部 知佳子

娘たちが小さい頃に読み聞かせしていた絵本を読み直しています。

バス添乗 横山 朋子

コロナ禍の為、夕食の食材の買い物が一回で済むように、一週間分のメニューをきめてから出掛けるようにしました。余分な出費が減り助かります。これからも続けていきたいと思っています。

※事務局よりご案内※

新型コロナウイルスの影響でこれまでと違う状況の中にありますが、会員の皆様におかれましてはお元気でご活躍のことと存じます。

【会報告】

☆新会員 24名 会員総数3,820名

☆ご連絡先が変更になった方は、お手数ですが事務局までお知らせください。

【役員交代】

☆6年間お世話になりました。一緒に楽しく参加させていただきました。

ありがとうございました。 井上光枝さま、鈴木亜由美さま

☆今年から役員をさせていただくことになりました。6年間よろしくお願いします。

新一年生 岡田さくらさま、早坂香織さま

二年生 高部昌子さま

【お知らせ】

☆ご連絡先が変更になった方はお手数ですが、事務局までお知らせください。

70周年記念事業として、新園舎の建築及び
現園舎の改築を行います。



2023 年 3 月中旬完成予定 エンジェル館(0-2 歳児用園舎)

＜創立 70 周年記念事業における寄付のお願い＞

2020 年に東原幼稚園は創立 70 周年を迎えました。創立 70 周年記念事業実行委員長として、学校法人山鳩学園同窓会会長(前園長)である栗野桂子氏が引き受けてくださいました。東原幼稚園は、2023 年 4 月から「認定こども園東原幼稚園」(幼保連携型)に移行いたします。現在、0-2 歳児用のエンジェル館の建築及び現園舎の改修作業を行っています。総額 1 億 8,000 万円を超える大きな事業となりますので、同窓会の皆さまにおかれましては、寄付のご協力をお願いいたします。尚、寄付の方法等については、詳細が決まり次第、皆様にご連絡いたします。

寄付目標額 2, 0 0 0 万円

【編集後記】

ホームページ(HP)での会報発行が6年目となりました。

コロナ渦でも色々と工夫をこらして、大人も子どもも日々を幸せに生きるチャレンジをされているのだなと、会報を発行して勉強させていただきました。原稿をお寄せくださった皆様や先生方に心より感謝申し上げます。

東原幼稚園の様子は、スマホやパソコンからも、アクセスしてご覧頂けます。

ご意見ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどございましたら、事務局 k.higasi@ceres.ocn.ne.jp までお寄せください。皆様のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

★会報担当者★岡田・早坂・高部・斎藤・高内